

泥棒を減らさない方法



東郷潤

広い宇宙のある星に、仕事もお金も無くて、困っている人がいます。

お腹が空いたなあ。
寒いよお～



とうとう彼は、泥棒することを決意しました。

泥棒なんかしたくない。
でも食べるためには、
他にどうしようもないんだ。

泥棒は悪い事です。泥棒をするなんて、なんて悪い人でしょう！
本当に腹が立ちます。



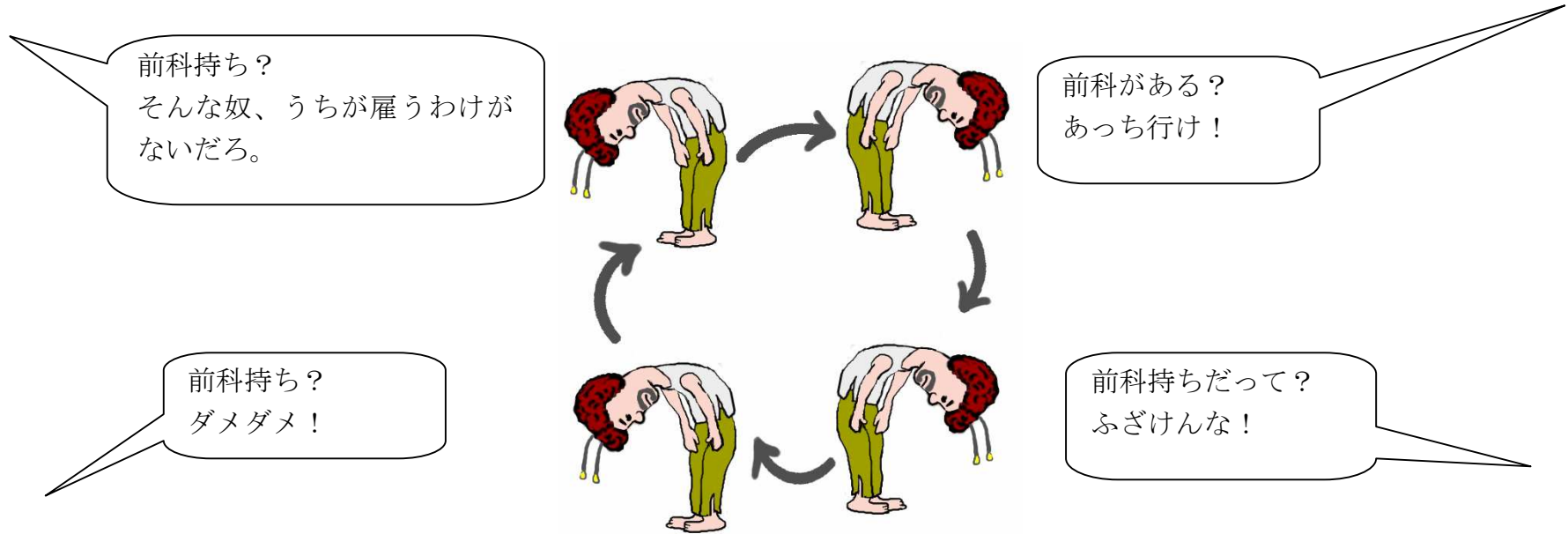
こら！ 逮捕するぞ

やったー！！
警察が悪い奴を捕まえてくれました！
悪人め、ざまあみろ！

それから、何年かが経ちました。



彼は刑務所を出所してから、あちこち仕事を探しました。



悪人が、就職できずに困っています。
ざま～あみろ！



P. 3へお戻りください。

飽きたら、P. 9へお進みください。



人々が泥棒に腹を立て、泥棒を減らしたいと願っても、
泥棒の原因を究明し、その原因を解決する代わりに、
悪を責めていけば、
泥棒を減らさないことができます。

あとがき —絵本「泥棒を減らさない方法」

善悪という言葉の周りには、多くの誤解や錯覚が存在するようです。

そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、様々な悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。（善悪の錯覚の詳細については弊著「善悪中毒」（リベルタ出版）をご参照ください。）

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、ご紹介していただければとお願いいたします。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2009